いんばくだより 因伯だより

2020年度号

児童養護施設
因伯子供学園

〒682－0854
鳥取県倉吉市
みどり町3249

TEL 0858-22-2639
FAX 0858-47-0234

ホームページ
http://www.inpakukodomo.jp/

みなさん、こんにちは。今年度は、新型コロナウイルスの影響により、マスクの着用、三密の回避、外出規制など、これまであまり経験したことのない生活を送っておられることと思います。

因伯子供学園においても、新型コロナウイルスの影響により、地域の方々との交流行事のうち6月のちまき作りは学園内のみ、8月のそうめん流しは中止となりました。夏の楽しみとなっている海水浴、県の児童養護施設協議会の合同キャンプについても中止。秋ごろに計画していた学園遠足についても自粛ということとなりました。中止・自粛という言葉ばかりですが、それでも子どもたちは元気いっぱい！負けていられないですね！

「因伯だより２０２０年度号」をお送りします。

地域小規模児童養護施設「桜ホーム」開設

今年度4月から、成徳地区の湊町に地域小規模児童養護施設「桜ホーム」を開設しました。

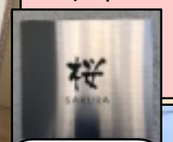
幼児1名、小学生1名、中学生1名、高校生2名、合計5名の女子グループです。本園の敷地にあるグループと何が違うのかというと、「地域の一般家庭を利用し、近隣住民との適切な関係を保持しつつ、家庭的な環境の中において、生活体験を積むことで、家庭により近い養育が可能である」ということが挙げられます。

「桜」の花言葉は、「精神美」「優美な女性」「純潔」であり、日本の国花とされています。桜ホームの女の子もそんな素敵な女性になってくれることを願っています。

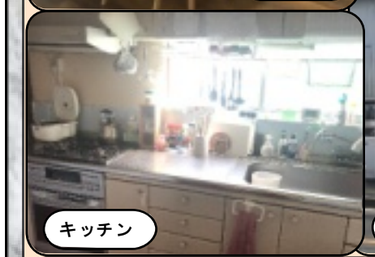
湊町・成徳地区のみなさま、よろしくお願い致します。

バスルーム

リビング



玄関の表札


キッチン

桜ホームの外観

「桜ホーム」　ホーム長　山根佑介

今年の4月より、因伯子供学園本園から少し離れた成徳地区に地域小規模児童養護施設を開設しました。ホームの名前は桜ホームといいます。桜ホームには、こども園に通っている子から、高校生の子までの女の子5名が住んでいます。職員は5名が交代しながら勤務に入っています。

今年はコロナの流行で、生活にたくさんの影響があり、皆様も四苦八苦されている方があると思います。桜ホーム開設の時にもコロナの影響から流通に支障が出ていたため、家電や家具が届かないなどと、開設早々大変でした。しかし、およそ半年経った今考えてみると、あるもので何とか生活するという経験も中々できるものではなく、新しく生活を始める時にしかできない思い出を作ることができたので、良いスタートだったのだと思います。

そんな慌ただしく始まった桜ホーム。生活場所だけでなく様々な環境が変わったので、落ち着かない様子の子どもの姿もありましたが、最近はホームの生活や職員にも慣れてきてくれているように思います。時々本園の職員が様子を見に来てくれると、全開の笑顔になる子ども達。本園から離れ、関わる大人の人数がぐっと減った分、寂しさもあると思います。しかし、地域に出たことで、より家庭的な生活の仕方・工夫もできるはず。因伯の精神を基に、子どもたちが楽しく、居心地が良いと思えるホームにできるよう、子ども達と一緒にホーム職員一丸となって頑張りたいと思います。

新しく地域に出たということで分からないことばかりでしたが、近所の方を始め成徳地区の方々にたくさんの事を教えてもらいました。この場を借りて感謝申し上げます。最近ようやく玉川清掃に職員が参加させてもらいました。今後も積極的に行事に参加させてもらいたいと思っていますので、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが今後ともよろしくお願い致します。

桜ホーム
ホーム長　山根佑介

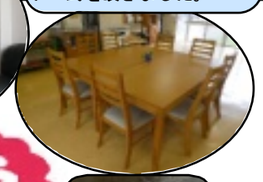
２０２０年４月から２０２０年１２月末までに、ご寄付いただいた方々は下記の通りです。
心より感謝し、ご報告申し上げます。敬省略

寄付者

生田　百合子	門脇　朋美	鳥取県運動用具商協同組合
齋江　富子	山下　誠	倉吉カトリック教会
齊藤　恵子	河本　充弘	倉吉キリンの会
河本　倫子	徳田　恵理子	めがね工房ジョイルック
岸本　優子	伊藤　紫帆	株式会社 楓
前田　修志	今井　隼人	ダスカジャパン クァウテモック
牧田　嘉子	白水　諭	株式会社フレーベル館 出版本部
河﨑　達子	ガイア紙屋町店	倉吉市社会福祉協議会
桑田　秋弘	メガガイア広島駅前店	鳥取中央育英高校同窓会
岡本　岳大	寿製菓株式会社	オハヨー乳業株式会社 中四国支店
門司　一徹	倉吉市共同募金委員会	株式会社トータルデザインセンター
石田	吉祥院	屋久島東部茶生産組合
九鬼　全弘	鳥取県立厚生病院	佐川急便株式会社 東京本社
長谷川　ノブアキ	さくら読み聞かせ	倉吉地区更生保護女性会
植原　守利	妙寂寺	国際ソロプチミスト倉吉
和泉　緑	富士綜合警備保障株式会社	成徳地区更生保護女性会
谷本　玲子	倉吉信用金庫	カーブスジャパン株式会社
福井　聰志	山陰中央新報社	マルシン食品株式会社
池本　道江	河越　行夫（宝製菓株式会社）	無名氏
戸田　範子		
迫田		

↑山陰中央新報社様より、カメラ2台やケースなど頂きました。

↓鳥取中央育英高校同窓会様より、寄附を頂きました。


↓倉吉市共同募金委員会様より、テーブル・イスのセット一式を頂きました。

ありがとうございました

↑鳥取県運動用具商協同組合様より、サッカーボールを頂きました。

↑倉吉信用金庫様より、お米を毎年頂いております。

↑長谷川様より、クッキーやブドウを頂きました。

↑ガイア紙屋町店様・メガガイア広島駅前店様より、いつも沢山お菓子頂いております。

☆家電製品の寄附について☆

毎年学園を卒園して、社会に出ていく子どもたちがおります。家電製品で使われなくなったもの（冷蔵庫・レンジ・テレビ・洗濯機など）不要になられたものがございましたら、ご寄附いただければとても助かります。もしございましたら、伺いますので、下記まで連絡お願い致します。０８５８・２２・２６３９（林原）

☆地域の皆様へ☆

みどり町のみなさん、日頃から、お世話になっております。今年度もよろしくお願い致します。

そして、今年度4月より、成徳地区・湊町に地域小規模児童養護施設「桜（さくら）ホーム」を開設しております。地域の皆様からは、既に沢山の関りや声かけをいただいております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

編集後記

今回の学園だよりの編集の際、完成直前でファイルが壊れ、ゼロから…。「ファイルのコピーを作っておけば…」という後悔の念と放心状態に30分。「もうえかな」と投げてしまいたいが、投げれない笑、年末の出来事でした。年始に久しく中国史書籍をめくって危うきを思う」とあり、訳すと、「順調な時こそ、今後の危険を思い起こすこと」。このあとに、「備えあれば：」に繋がります。とてもタイムリーでした。編集後記とて表明しておけば多少なりとも身に染みるかな？と思い書かせていただきました。今年もどうぞよろしくお願い致します。

編集委員　林原

☆新しい職員を紹介します☆

今年度４月から新たに２名の職員が加わりました。ご紹介します。
みなさんよろしくお願い致します。

廣賀（ひろが） 彩花（あやか） 欅（けやき）ホーム担当

今年度から当園で働くこととなりました、廣賀彩花です。私は大学時、社会福祉を学ぶにあたり、様々な福祉分野に触れてきました。その中で児童養護施設に関わらせてもらい「話が通じて楽しいな、子どもの成長を支援出来たら楽しいだろうな」と感じました。そして現在、当園で勤務させて頂いている事、とても嬉しく感じています。

勤務に入り半年以上経とうとしていますが、児童に対しての声かけ、言葉選び、行動など上手くできたな、って思えるのはほんの一握りで難しさを感じています。悩み葛藤の毎日ですが、優しく声を掛けてくれたり、相談に乗って下さる職員のみなさんに助けてもらいながら頑張っています。また子どもたちがかけてくれる何気ない「楽しかったよ」「ありがとう」「また話ししよ」などという言葉が嬉しくて頑張れます。当園にいる子どもたちが笑顔で毎日生活できるように、また悩んだ時などに力になれる、いろんな視点から支援できるような職員を目指し頑張っていきたいと思います。よろしくお願い致します。

よろしくお願いします

森下（もりした） 華凛（かりん） 梧（あおぎり）ホーム担当

今年度から、当園の梧ホームで働かせていただいております、森下華凛と申します。

私が初めて因伯子供学園に訪れたのは、昨年の保育実習の時でした。当園での実習は私にとってとても実りのあるもので、私もこの場所で子どもたちと関りたい、そして私自身も保育者として成長していきたいと強く感じました。実習が終わってからも、この気持ちが変わることはなく、当園の就職試験を受けるに至りました。念願が叶い、当園で働かせていただくことになり早半年・・。職員の皆さんをはじめ、子どもたちからも毎日多くの事を学んでいます。まだまだ未熟な自分ですが「子どもたちの視点」「職員としての視点」のどちらも大切にしながら、子どもたちの成長を見守っていきたいと思っています。

ご迷惑をおかけすることもあるとは思いますが、少しでも早く先輩職員さんのように、当園の職員として頼られる存在になれるよう一生懸命頑張ります。よろしくお願い致します。

☆学園の様子と行事紹介☆

表紙にて、行事の中止・自粛についてお伝えしましたが、ゴールデンウィーク・お盆などの子どもの帰省や外出については、学園の運営委員会にて、新型コロナウイルスの状況、国や県の方針を踏まえて、協議し決定しました。職員についても同じように自粛を心掛け、学園内への感染防止に努めました。

このような状況下であっても可能な限りの企画を考えました。特に夏休みについては、初めての試みとして「因伯サマーキャンプ」「因伯夏まつり」を企画しました。実際に参加した感想をお伝えします。そして、その他にも学園内の実施できた行事の様子をお伝えします。

年が明けた１月現在についても新型コロナウイルスの影響が続いていますが、来年度は今年度より明るい様子をお伝えできればと思っております。

「船上山少年自然の家キャンプ（因伯サマーキャンプ）」

7月30日・31日に船上山少年自然の家へ、男子児童と男性職員で一泊2日のキャンプに行きました。

１日目、あいにくの雨模様でした。船上山少年自然の家に到着後は、体育館にて「開村式」、雨天ということ、利用団体が因伯だけであったこともあり、貸し切りとなり体育館内にて「テント立て」、とてもラッキーでした。その後は、４チームに分かれて「キンボール」「ドッジビー」「ボッチャ」で対戦しました。子どもから職員までいつのまにか真剣モードで汗だく、白熱していました。夕方には炊事棟にて「カレーライス作り」、飯ごう炊飯も焦がすことなく上手に炊けました。夕食後は屋内にて「肝試し」、職員は宿泊棟にてオバケ係をしましたが、利用者がなく真っ暗であったためスタンバイする職員側も少々冷や汗をかいたのを覚えています。約70年前の南北朝時代には戦場であったわけですからね。その後入浴して就寝という流れでした。

２日目、前日とは打って変わり朝から晴天が広がり、絶好の登山日和となりましたがその前に朝食ですね（笑）。朝食は「カートンドッグ」を作りました。全体的に焼け過ぎて焦げてしまいましたが、少々の焦げは我慢して食べていました。好き嫌い出来るこのご時世、良い経験であったように思います。そして、「船上山登山」スタート。登り始めしばらくして、情けない事に自分は足を捻挫。小学生・中学生は軽快に登っていましたが、高校生は少しゆっくりでしたので登頂、そして下山まで、何とか遅れることなくやり遂げることが出来ました。その後子どもたちは「川遊び」を楽しみ、「閉村式」、そして帰路へ着きました。

船上山の自然を大いに満喫できた２日間となりました。

後日、子どもたちに感想を聞くと「かなり楽しかった」という一体感を共有できたよう自分の感想としましても、「因伯の男子だけ」という一一人一人感謝でした。企画した職員のみなさんお疲れ様でした。

カレーライス完成！

焦げ気味のカートンドッグ…。

船上山を登る

木陰で川遊び

白熱！キンボール！

テント立て

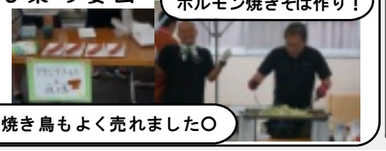
「因伯夏まつり」

8月10日、学園内駐車場にて開催しました。例年ですと「みどり町夏祭り」に参加させていただいているのですが、新型コロナウイルスによる中止を受け、外出できない子どもたちのためにと企画されました。近年で学園だけでの祭りの企画はありませんでしたが、実行委員をはじめ、子どもたちは「どんなコーナーが楽しいのか？」「どんなものが食べたいのか？」など意見を出し合いました。メニューは、「ホルモン焼きそば」「焼き鳥」「フランクフルト」「からあげ」「ポテト」「かき氷」「ジュース」、ゲームコーナーでは「輪投げ」「スーパーボールすくい」後半には「ビンゴゲーム」も企画しました。ビンゴゲームの特賞景品は「マクドナルドの商品券」。高校生女子が見事当選！満面の笑みでした。行事への参加率の低い高校生男子も参加してくれ、楽しい時間をすごせました。

集中！
スーパーボールすくい！

ビンゴゲームの豪華景品！

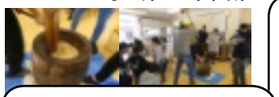
ゲームコーナー受付


ホルモン焼きそば作り！

フランクフルトと焼き鳥もよく売れました〇

「もちつき大会」

例年ですと、富士綜合警備保障株式会社の方と一緒に餅をつくのですが、今年は学園内だけでのもちつきとなりました。お米は富士綜合警備保障株式会社さんから多くの寄附物品と一緒にいただきました。ありがとうございました。


みんな一生懸命つきました！

「クリスマス会」

12月25日、毎年恒例のクリスマス会が開催されました。豪華景品のビンゴゲームや稲村氏のライブで盛り上がりました。

ミュージシャン稲村、毎年参上！

「115周年創立記念祭」

11月23日、今年で因伯子供学園は創立115周年を迎え、子ども・職員でお祝いしました。園長先生による表彰もあり、「テストに頑張った」「検定に頑張った」など日々のがんばりを表彰してもらいました。

因伯115歳の誕生日おめでとう！

「避難訓練と芋煮会」

11月14日、避難訓練に取り組み、昼食では非常食のアルファ米と芋煮をいただきました。

美味しい芋煮ができましたよ！

「中部里親会　土に親しむ会」

中部里親会主催の「土に親しむ会」に参加しました。今年は新型コロナウイルス対策のため、昼食のカレーの会食は行われず、残念でしたが、5月に苗植え、10月に芋掘りに参加児童は頑張って取り組みました。大きな芋が沢山とれました！

今年も大収穫でした！

☆学園からのお知らせ☆

〇「本館ホーム」の名称を「柊ホーム（ひいらぎ）」に改称しました。

以前の大舎制時の幼児棟と女子棟を利用したホームとなっています。

「柊」の花言葉は、「用心深さ」「保護」「先見の明」です。小学生男子3名、中学生男子2名、高校生男子1名、計6名の男の子たちが生活しています。

〇バスケットボールリングを設置しました。

学園の「しゃべり場」にて「バスケットボールのゴールを買って欲しい」という高校生の意見から学園で購入しグランドに設置しました。これまで学園男子の主流のスポーツはサッカーでしたが、バスケをする子が増えてきています。小学生も見様見真似で遊んでいます。

〇学園玄関に呼び鈴を新しく設置しました。

来園いただいても、長時間お待たせしてしまうことがあり、学園玄関に設置しました。玄関の事務室に職員が不在でしたら、ご利用ください。

右側玄関のポスト付近